

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（パブリック・クレジット、プライベート・クレジット）	
信託期間	無期限（設定日：2025年9月9日）	
運用方針	当ファンドはSBI オルタナティブ・ハイインカム・セレクト・マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に欧米のパブリック・クレジット投資およびプライベート・クレジット投資を行い、インカムゲインの獲得と長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	別に定める上場投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンド（ベビーファンド）	マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。 投資信託証券（マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	年4回、原則として、1月、4月、7月、10月の各20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、第2計算期末以降、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。収益分配にあてなかった留保益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

# 運用報告書（全体版）

第1作成期

第1期（決算日 2025年10月20日）

第2期（決算日 2026年1月20日）

## SBI オルタナティブ・ハイインカム・セレクト・ファンド（年4回決算型）

追加型投信／海外／その他資産（パブリック・クレジット、プライベート・クレジット）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI オルタナティブ・ハイインカム・セレクト・ファンド（年4回決算型）」は、2026年1月20日に第2期決算を行いました。

ここに作成期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiam.co.jp/>

## ○設定以来の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
		(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		
第1作成期	(設定日) 2025年9月9日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 1,442
	1期(2025年10月20日)	10,081	—	0.8	92.3	2,489
	2期(2026年1月20日)	10,624	170	7.1	95.9	2,892

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。

(注3) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注5) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に欧米のパブリック・クレジット投資、プライベート・クレジット投資を行い、インカムゲインの獲得と長期的な信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		投資信託証券 組入比率
			騰落率	
第1期	(設定日) 2025年9月9日	円 10,000	% —	% —
	9月末	10,085	0.9	94.1
	(期末) 2025年10月20日	10,081	0.8	92.3
第2期	(期首) 2025年10月20日	10,081	—	92.3
	10月末	10,354	2.7	94.9
	11月末	10,554	4.7	92.3
	12月末	10,640	5.5	93.6
	(期末) 2026年1月20日	10,794	7.1	95.9

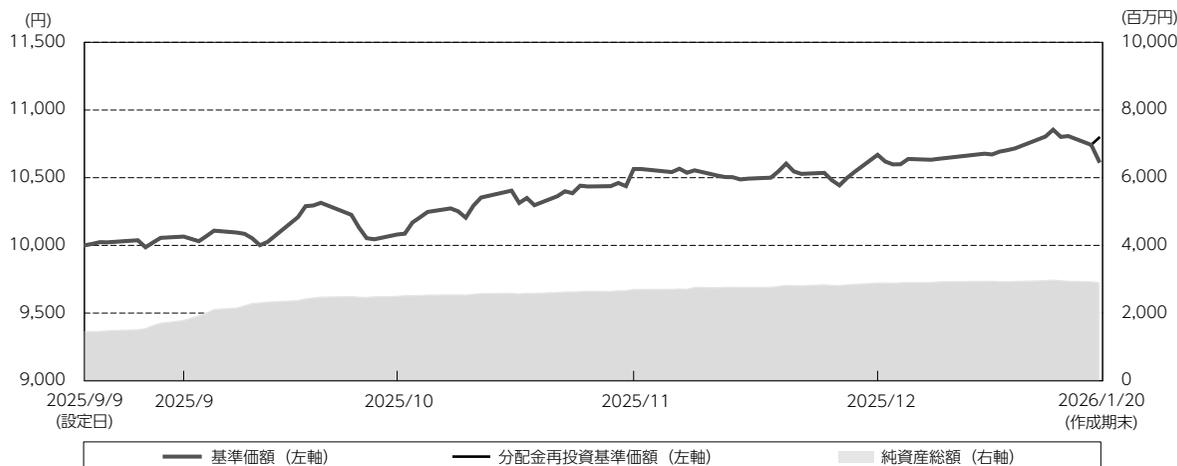
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は第1期が設定日比、第2期は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に欧米のパブリック・クレジット投資、プライベート・クレジット投資を行い、インカムゲインの獲得と長期的な信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

## ■ 当作成期の運用状況と今後の運用方針（2025年9月9日から2026年1月20日まで）

### ○ 基準価額等の推移



設定日：10,000円

第2期末：10,624円（既払分配金（税込み）：170円）

騰落率：7.9%（収益分配金再投資ベース）

(注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に欧米のパブリック・クレジット投資、プライベート・クレジット投資を行い、インカムゲインの獲得と長期的な信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) 分配金再投資基準価額は、設定日（2025年9月9日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

### ○ 基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は運用開始後、2025年10月初旬から中旬15日にかけて下落しました。要因は5ページで後述する投資環境のとおり、米国のクレジット市場での事象によるものですが、10月中旬以降は、基準価額を上げてきております。ただ、構成する5つの上場投資信託の基準価額推移から理論値を算出した場合、当ファンドの決算日においては、上昇幅は1.6%ほどで、ファンド基準価額の上昇（7.9%）の要因としましては、為替（円安）によるものとなっております。

## ○投資環境

---

### クレジット市場概況

米国バンクローン価格は、9月中旬から10月中旬まで、下落しました。要因といたしましては、最初に9月10日の米サブプライム自動車ローン会社トライカラーの連邦破産法申請の報道があげられます。同社が融資の際、不正行為を行っていたという内容で、同様のモラルハザードの動きがクレジット市場内で起きているのではないかと不信感が高まったことによります。

次いで、9月29日には、自動車部品メーカーのファースト・ブランズ・グループが破産法申請を提出し、10月16日には、トライカラーに似た融資不正疑惑に関係する米地銀2行の損失も明らかになり、クレジット市場に動揺が広がりました。

この時点で、あくまで、破綻した2社については、クレジット市場全般に共通する事象ではなく、個別企業の特殊な問題との見方が広まり、動揺は沈静化し、バンクローン市場も落ち着きを取り戻し、バンクローン価格も上昇に転じました。

ただ、直近、米国株式市場において、AIによる事業環境変化の懸念から、ソフトウェア関連銘柄が大きく下落し始めております。ローン市場においては、約14%がテクノロジー関連の債権があり、格付けもB及びB-格に集中しています。これら低格付のテクノロジー関連企業への債権を多く持つバンクローンは、パフォーマンスが悪化しております。ただ、現時点では、バンクローン市場全体というよりは、セクター限定的な動きであり、全体に波及することはないとの見方が多い状況です。

## ○当ファンドのポートフォリオ

---

当ファンドおよびマザーファンドの運用にあたっては「SBIオルタナティブ・アセットマネジメント株式会社」の投資助言を受けております。

### <当ファンド>

主要投資対象であるSBIオルタナティブ・ハイインカム・セレクト・マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持し、インカムゲインの獲得と長期的な信託財産の成長をめざして運用を行いました。

### <SBIオルタナティブ・ハイインカム・セレクト・マザーファンド>

上場投資信託証券に投資し、実質的に欧米のパブリック・クレジット投資、プライベート・クレジット投資を行いました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

---

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に欧米のパブリック・クレジット投資、プライベート・クレジット投資を行い、インカムゲインの獲得と長期的な信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

## ○分配金

当作成期の分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、基準価額水準や市況動向などを勘案し、下表の通りといたしました。第1期につきましては、投資信託約款の規定に基づき分配を行いませんでした。

なお、分配にあてなかった留保益の運用については、特に制限を定めず、運用の基本方針に基づき元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第1期	第2期
	2025年9月9日～ 2025年10月20日	2025年10月21日～ 2026年1月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%	170 1.575%
当期の収益	—	161
当期の収益以外	—	8
翌期繰越分配対象額	80	624

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

引き続きマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に欧米のパブリック・クレジット投資およびプライベート・クレジット投資を行い、インカムゲインの獲得と長期的な信託財産の成長をめざします。

# ○1万口当たりの費用明細

(2025年9月9日～2026年1月20日)

項 目	第1期～第2期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 )  ( 受 託 会 社 )	32 ( 6 ) ( 25 )  ( 1 )	0.309 (0.061) (0.242)  (0.006)	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 ( 投 資 信 託 証 券 )	3 ( 3 )	0.030 (0.030)	(b) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均 受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に 支払う手数料
(c) 有価証券取引税 ( 株 式 )	— ( — )	— ( — )	(c) 有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均 受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に 関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )  ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 )	6 ( 1 )  ( 1 ) ( 4 )	0.055 (0.006)  (0.013) (0.037)	(d) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	41	0.394	
作成期中の平均基準価額は、10,408円です。			

(注1) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

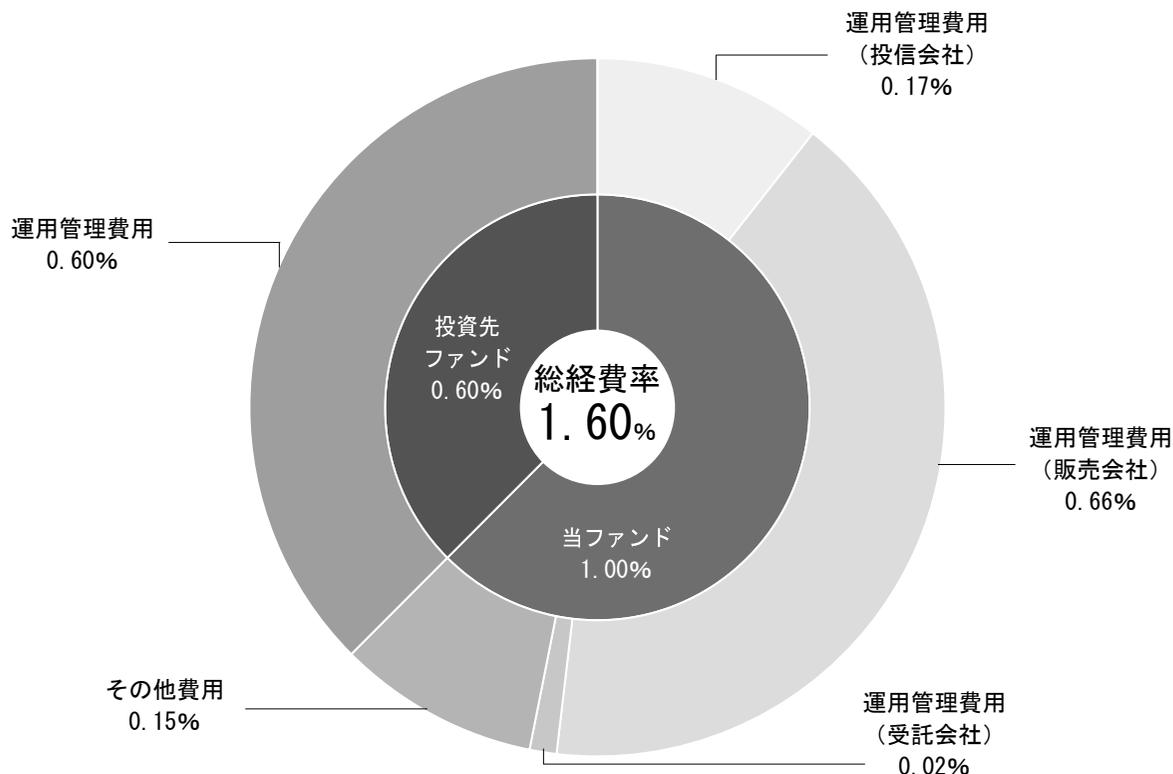
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.60%です。**



総経費率 (①+②)	1.60%
①当ファンドの費用の比率	1.00%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.60%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2025年9月9日～2026年1月20日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第1期～第2期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
SBI オルタナティブ・ハイインカム・セレクト・マザーファンド		3,009,776	3,043,070	289,820	301,950

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2025年9月9日～2026年1月20日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2026年1月20日現在)

### 親投資信託残高

銘	柄	第1作成期末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
SBI オルタナティブ・ハイインカム・セレクト・マザーファンド		2,719,956	2,946,256

(注) 単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2026年1月20日現在)

項 目	第1作成期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
SBI オルタナティブ・ハイインカム・セレクト・マザーファンド	2,946,256	98.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	35,052	1.2
投 資 信 託 財 産 総 額	2,981,308	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) SBI オルタナティブ・ハイインカム・セレクト・マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建て純資産(2,803,985千円)の投資信託財産総額(2,981,265千円)に対する比率は94.1%です。

(注3) 外貨建て資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1ドル=158.19円、1オーストラリアドル=106.11円。

## ○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第 1 期末	第 2 期末
	2025年10月20日現在	2026年 1月20日現在
	円	円
(A) 資産	2,505,231,286	2,981,308,602
コール・ローン等	18,961	21,682
SBI オルタナティブ・ハイインカム・セレクト・マザーファンド(評価額)	2,491,832,325	2,946,256,920
未収入金	13,380,000	35,030,000
(B) 負債	15,692,930	88,422,510
未払収益分配金	—	46,289,589
未払解約金	13,365,230	35,012,845
未払信託報酬	1,932,255	5,826,146
その他未払費用	395,445	1,293,930
(C) 純資産総額(A－B)	2,489,538,356	2,892,886,092
元本	2,469,626,590	2,722,917,042
次期繰越損益金	19,911,766	169,969,050
(D) 受益権総口数	2,469,626,590口	2,722,917,042口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,081円	10,624円

<注記事項（運用報告書作成時には監査未了）>

（貸借対照表関係）

作成期首元本額

1,442,208,511円

第1～2期中追加設定元本額

1,570,658,288円

第1～2期中一部解約元本額

289,949,757円

## ○損益の状況

項 目	第 1 期	第 2 期
	2025年 9 月 9 日～2025年10月20日	2025年10月21日～2026年 1 月20日
	円	円
(A) 配当等収益	—	2
受取利息	—	2
(B) 有価証券売買損益	13,606,026	182,643,079
売買益	16,090,195	194,747,000
売買損	△ 2,484,169	△ 12,103,921
(C) 信託報酬等	△ 2,327,700	△ 6,724,631
(D) 当期損益金 (A + B + C)	11,278,326	175,918,450
(E) 前期繰越損益金	—	10,305,830
(F) 追加信託差損益金	8,633,440	30,034,359
(配当等相当額)	( — )	( 4,578,075)
(売買損益相当額)	( 8,633,440)	( 25,456,284)
(G) 計 (D + E + F)	19,911,766	216,258,639
(H) 収益分配金	—	△ 46,289,589
次期繰越損益金 (G + H)	19,911,766	169,969,050
追加信託差損益金	8,633,440	30,034,359
(配当等相当額)	( 2,221,031)	( 7,250,928)
(売買損益相当額)	( 6,412,409)	( 22,783,431)
分配準備積立金	11,278,326	139,934,691

(注 1) 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注 2) 損益の状況の中で (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注 3) 損益の状況の中で (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注 4) 第 1 期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (10,155,187円)、費用控除後の有価証券等損益額 (1,123,139円)、および信託約款に規定する収益調整金 (8,633,440円) より分配対象収益は19,911,766円 (10,000口当たり80円) ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

(注 5) 第 2 期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (44,044,361円)、費用控除後の有価証券等損益額 (131,874,089円)、信託約款に規定する収益調整金 (30,034,359円) および分配準備積立金 (10,305,830円) より分配対象収益は216,258,639円 (10,000口当たり794円) であり、うち46,289,589円 (10,000口当たり170円) を分配金額としております。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2026年1月20日現在）

<SBI オルタナティブ・ハイインカム・セレクト・マザーファンド>

下記は、SBI オルタナティブ・ハイインカム・セレクト・マザーファンド全体（2,719,956千口）の内容です。

外国投資信託証券

銘柄名	当 期 末				
	口 数	評 価 額		比 率	
		外貨建金額	円換算金額		
(アメリカ)	口	千ドル	千円	%	
SPDR BLACKSTONE SENIOR LOAN	100,092	4,145	655,825	22.3	
FRANKLIN SENIOR LOAN ETF	196,276	4,611	729,493	24.8	
JANUS HENDERSON B-BBB CLO ETF	106,936	5,140	813,246	27.6	
SPDR SSGA IG PUB&PRIV CREDIT	37,028	941	149,013	5.1	
小 計	口 数 ・ 金 額	440,332	14,840	2,347,580	
	銘柄数 < 比率 >	4	—	<79.7%>	
(オーストラリア)			千オーストラリアドル		
KKR CREDIT INCOME FUND	1,735,360	4,008	425,361	14.4	
小 計	口 数 ・ 金 額	1,735,360	4,008	425,361	
	銘柄数 < 比率 >	1	—	<14.4%>	
合 計	口 数 ・ 金 額	2,175,692	—	2,772,941	94.1
	銘柄数 < 比率 >	5	—	<94.1%>	

(注1) 円換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## SBI オルタナティブ・ハイインカム・セレクト・マザーファンド

初回決算日（2026年7月21日）を迎えていないため、記載すべき情報はございません。